

# 情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	H006	行事名	地域の防災・減災に関するセミナー	
行事形式	オンライン	主催団体	中国総合通信局、中国情報通信懇談会、中国地方非常通信協議会	
開催日	2021年9月16日 15:00-16:30		開催場所	広島市南区京橋町1-7 TKPガーデンシティ広島駅前大橋
行事参加者数	202名 (Zoom及びYoutube視聴者数)		WebサイトURL	<a href="https://www.soumu.go.jp/soutsu/chugoku/hodo_2021/01sotsu08_01001226.html">https://www.soumu.go.jp/soutsu/chugoku/hodo_2021/01sotsu08_01001226.html</a>
行事実施概要・アピール等				
<p>平成29年7月九州北部豪雨災害を契機に結成された九州大学災害復興支援団の取組や自然災害から身を守るためのリスクコミュニケーション等をテーマとした講演。</p> <p>講演では、「地域の防災・減災のあり方」をテーマに、下記の内容について説明していただいた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然災害の危険度を示す「ハザード」と、例えば平屋とマンションで異なってくるように、各個人の置かれた環境によって異なる危険度を示す「リスク」とは違う概念である。</li> <li>2. 砂防ダムなど災害に強い社会をつくる「防災」と、被害を想定して、その被害を最小限にする「減災」は、異なるものである。</li> <li>3. 自然災害の対策で、ハード対策は着実に進んでいるが、都市化の進展には追いついていない。そのため、行政が作成し公表しているハザードマップは想定被害を示していて、情報が限定的であることを各個人が認識する必要がある。</li> </ol> <p>今後、行政は、ハザードマップを公表して終わりではなく、住民へ、その中身を理解してもらおう取組(ソフト対策)が重要となる。</p>				



主催者挨拶 中国総合通信局 和久屋局長



講師 九州大学 三谷教授